平成１６年３月
地域経済産業ｸﾞﾙｰﾌﾟ
産業施設課

平成１５年度 事後評価書要旨

対象事業名	志津見ダム建設事業（関連工業用水道事業：神戸川工業用水道事業）

１．事業の目的

国土交通省が施工する志津見ダム建設事業に水源を求める神戸川工業用水道事業は、出雲市、大社町、湖陵町の既存企業及び新規立地企業に対し、28,000m³/日の工業用水を供給することを目的とし、0.347m³/秒の水量を確保するため、昭和62年度から志津見ダム建設事業に参画した。

ダム完成前に給水区域として考えていた長浜中核工業団地の分譲取りかがり進捗みくめ、工業用水需要が見込めなくなる等、神戸川工業用水道事業の環境の変化等により、当初の工業用水需給計画が見直され、島根県は平成12年度に出雲市内の出雲市駅周辺地区、西部地区、古志地区の3地区を給水区域として工業用水需要を見直し、計画給水能力を9,300m³/日と事業規模を縮小したうえで、志津見ダム建設事業に参画している。

島根県は、平成15年3月に再度、工業用水需要調査を行ったところ、西部地区及び古志地区の既存企業については自己水源、上水道使用等からの工業用水道への転換が見込まれ、また、出雲インターチェンジ周辺地区の工業用水需要が見込まれていることから、現在、島根県は当該地域に9,300m³/日の工業用水を供給すべく、神戸川工業用水道事業の水源として、国土交通省が施工する志津見ダム建設事業に0.116m³/秒の水量を確保するため、共同事業者として参画しているものである。

２．事業の必要性

(1) 背景

神戸川工業用水道事業の給水区域である出雲市は、平成10年3月に出雲市総合振興計画「21世紀出雲のグランドデザイン」を策定し、市民や企業が行政一体となって地域産業の発展と新しい産業の創出に取り組んでいる。また、島根県は平成12年8月に「島根県宍道湖中海周辺地域高度技術産業集積活性化計画」を策定し、出雲市を含む高度技術産業集積地で新規事業創出の方向性として、「環境関連分野」、「健康・福祉関連分野」の2つを重点分野として定めている。このような状況の中、出雲市の経済の発展や雇用の確保を図るためには、企業立地を進める効果的な手段であることから、企業集積の受け皿である新規工業団地の整備が出雲インターチェンジ周辺地区に計画されており、当該地域での工業用水需要が見込まれている。

また、西部地区及び古志地区の既存企業は地下水及び上水道に水源を求めており、水質や価格の問題から工業用水道への転換が見込まれている。

以上のことから、志津見ダム建設事業に引き続き参画するものである。

(2) 必要性

島根県は、新規工業団地への誘致企業として、「医療・福祉関連産業」、「食品・バイオテクノロジー関連産業」、「情報関連産業」、「環境関連産業」を考えており、良質で安定した低廉な用水が供給できる工業用水道の整備が必要であり、また、西部地区や古志地区の既存企業の中には、この水質や価格の問題から工業用水の受水を検討するという企業もあり、これら既存企業に対しても工業用水を供給する必要があることから、工業用水道の整備が必要である。

３．効果とコストとの関係に関する分析

Ａ．総便益　；　６６．３５億円
Ｂ．総費用　；　５９．２４億円
費用便益比　；　１．１２　（Ａ／Ｂ）

４．評価結果

工業用水道事業に係る政策評価実施要領に照らし、現計画による施設整備は妥当であると認められることから、引き続き補助金交付対象事業とする。